



# CORPORATE BROCHURE

劇団四季

## IV 社長メッセージ～演劇の理想郷へ～

1953年7月14日。劇団四季は「演劇界に革命を起こす」という志を持った10人の学生たちによって創立されました。旗揚げにフランス革命記念日が選ばれているのも、そのためです。以来70年間、我々は常に浅利慶太をはじめとする創立メンバーが掲げた改革者の精神を胸に、全力で演劇と向き合ってきました。

その「演劇」にとって、最も大切なことは何でしょうか。小説や絵画なら一人隠遁した作者が作品を残したり、同時代には理解されなくとも後世に再評価を得たりすることがありますが、演劇ではあり得ません。なぜなら演劇が成立するためには、上演される劇場の客席に観客がいることが必要不可欠だからです。

したがって、演劇ほど社会と深く結びつき、社会に生きる人々の心を大切にしなければならない芸術はありません。劇団四季のメンバーは全員がそれを理解し、社会に寄り添い、共に生きる決意を持っています。そして、全員が演劇人としての誇りを持ち、演劇から得られる糧で生きているのです。

劇団四季とは抽象的な存在ではありません。ここで働く一人ひとりの集合体です。そして一人ひとりが手を取り合って前に進む団結の中に、我々の目指す「演劇の理想郷」があります。明日の演劇界のために、皆さんと働く日を心待ちにしています。



劇団四季 代表取締役 社長執行役員 吉田 智誉樹

## IV 劇団四季の理念

劇団四季は、俳優・技術スタッフ・経営スタッフ約1400名で組織された、世界的に見ても最大規模の演劇集団です。日本国内に専用劇場を持ち、ストレートプレイ(芝居)、オリジナルミュージカル、海外ミュージカル、ファミリー ミュージカルなど幅広いレパートリーを上演しています。

### 演劇の市民社会への復権

戦後間もない日本演劇界は、政治主張を主眼にした啓蒙的な舞台が主流でした。しかし「演劇は詩と幻想の芸術」と考えた劇団四季は、純粋に人々が感動できる舞台を創造し、市民社会と手を携えて歩むことを志しました。

### 舞台成果による経済的自立

お客様が何度も見たくなるような質の高い舞台を作ることで、安定した劇団経営を実現させ、所属員がより舞台に打ち込める好循環を生み出します。

### 文化の一極集中の是正

今でも舞台芸術の分野では、東京への一極集中が顕著な傾向にあります。首都圏のみならず全国各地に舞台の感動を届けることで、一極集中を是正し、演劇をもっと身近に感じられる社会を実現します。

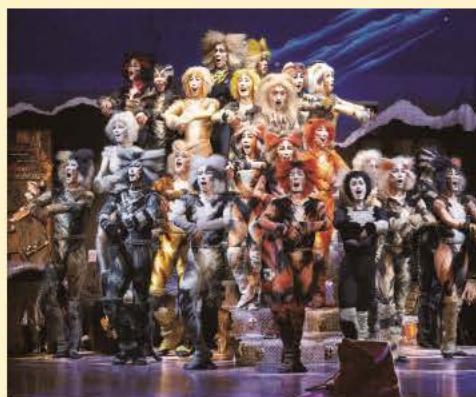
## Ⅳ 海外プロダクションとの交流

アメリカ・ブロードウェイやイギリス・ウエストエンドでは、毎年優れた舞台が誕生し、世界規模で上演されています。劇団四季ではこうした海外の新作をいち早く取り上げ、日本のお客様に届けています。『キャッツ』や『オペラ座の怪人』を生み出した作曲家アンドリュー・ロイド=ウェバーとの出会い、1995年の『美女と野獣』初演以来約30年に亘るディズニーとの連携などにより、多くの海外作品を上演し、同時に深い信頼関係を築き上げてきました。

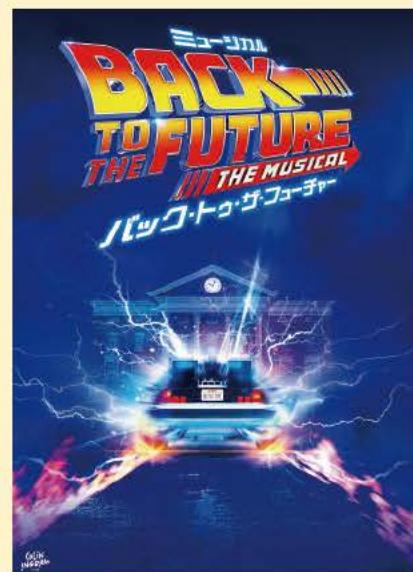
2025年には海外新作ミュージカル『バック・トゥ・ザ・フューチャー』の上演も決定。日本全国に大きな市場を持つ劇団四季のプロデュース力は、世界の演劇関係者にも高く評価されています。



『ウィキッド』



『キャッツ』



『バック・トゥ・ザ・フューチャー』

## Ⅴ オリジナルミュージカルの創作

海外ミュージカルやストレートプレイといったジャンルと共に、劇団四季の演劇活動を支える柱の一つが、オリジナルミュージカルの創作です。

四季初のオリジナルミュージカルは、1964年に発表したファミリーミュージカル『はだかの王様』。以来、数多くの作品を世に送り出していました。2018年にはオリジナル作品開発の専門セクションとして企画開発室を新設し、

創作体制を強化。近年のオリジナル作品には、ファミリーミュージカル『カモメに飛ぶことを教えた猫』(2019年)、『ロボット・イン・ザ・ガーデン』(2020年)、ファミリーミュージカル『はじまりの樹の神話～こそあどニセイ名作シリーズ～』(2021年)、『バケモノの子』(2022年)、ファミリーミュージカル『ジャック・オー・ランド～ユーリと魔物の笛～』(2023年／児童・青少年招待事業「ニッセイ名作シリーズ」にて上演)があります。2024年5月開幕の『ゴースト&レディ』では、オリジナルミュージカルとして初めて海外から演出家を迎えます。オリジナルミュージカルの創作は、今後の四季の発展を担う重要なプロジェクトです。



『ゴースト&レディ』



『バケモノの子』

チケットの販売から劇団の管理まで、公演の実務を支えます。

今井 瑛子 IMAI EIKO  
東京営業部 (2020年入団)



- 1年目 東京営業部 埼玉チーム 主に埼玉県北西部エリアの営業を担当  
2年目 「劇団四季のアンドリュー・ロイド=ウェバー コンサート～アンマスクド～」  
首都圏公演 公演担当補佐  
1年目に引き続き営業業務を行なながら、補佐として公演担当業務を学ぶ  
3年目 「アラジン」公演担当補佐  
4年目～ 「オペラ座の怪人」横浜公演 公演担当  
公演計画の立案や、チケット発売・開幕準備業務を担う

大学入学とともに上京し、知人に誘われ『アラジン』を観劇しました。体感したことのなかつた煌びやかな世界観に魅了され、気付けば劇場に通うように。「演劇との出会いを作り出す仕事がしたい」と思い、劇団四季を志しました。

入社3年目のとき、貸切公演を予約された団体のご案内を担当しました。できる限り団体の要望を叶えられるよう、担当者や劇団内の関係者と入念に打ち合わせを行いました。大変な面も多くありましたが、日々調整を重ね、当日は来場された約1,000名のお客様に喜んでいただくことができました。初めて観劇をされるお客様も多く、自身の仕事にあらためて誇りを持つことができた瞬間でした。

営業部の仕事の魅力は、きっかけがなかったお客様に対して「演劇との出会い」を作り出せることだと思います。私自身が観劇をきっかけに人生が変わったように、劇場での体験がお客様にとって人生のタイミングポイントとなる可能性もあります。劇場がお客様にとって思い出の場になれば、営業部員としてこれ以上の幸せはありません。



大角 真名人 OSUMI MANATO  
企画開発室 (2019年入団)

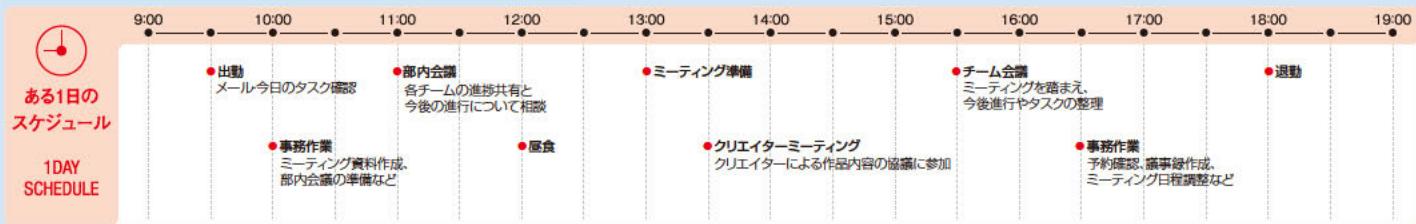


- 1年目 名古屋営業部 学校や企業、労働組合等への団体営業にあたる  
2年目 10月～ 企画開発室「ロボット・イン・ザ・ガーデン」担当  
再演にあたっての契約管理・支払業務・開幕準備に携わる  
3年目～ 「ジャック・オー・ランド～ユーリと魔物の笛～」担当  
2023年6月の初演開幕まで一連のプロデュース業務に携わる

子どもの頃からミュージカルに触れる機会があり、大学では演劇部に入部し公演づくりに明け暮れていました。「演劇の感動」をより多くの人に届ける仕事がしたいと考え、劇団四季を志しました。

企画開発室は、オリジナルミュージカルの創作・プロデュースに関わる一連の業務を行います。オリジナル創作はゼロからイチを生み出す活動。常に前例のないことに向かいながら、事前の準備や対策を立て、滞りなく創作を進行させることが私の仕事です。

入社3年目から担当した『ジャック・オー・ランド』では、ミーティングの進行や予算管理など創作に関する業務を担いました。クリエイターとの認識合わせや、制作予算とデザイン案の折衝など、様々な視点から意見交換を行いますが、「より良い作品にしたい」という気持ちちは皆同じ。クリエイター・俳優・スタッフが垣根を超えて団結し、ひとつひとつ課題を乗り越えていきました。迎えた開幕初日、物語を締めくくる最後の曲で、劇場の子どもたちから自然と手拍子が起ったことは、今も心に残っています。企画立案から開幕まで続いた長く大変な日々が何よりも報われた瞬間でした。



# V 技術スタッフ

●舞台監督助手 ●舞台装置 ●小道具 ●照明 ●コスチューム(衣裳)  
●ヘア・メイク(床山) ●音響 ●音楽 ●映像

装置や道具の製作から舞台運行の管理に至るまで、劇団四季の舞台制作を一貫して手掛けています。

沢永 春歌 SHAKUNAGA HARUKA  
舞台監督助手 (2021年入団)



- 1年目 『リトルマーメイド』大阪公演を担当  
2年目 『リトルマーメイド』新都市公演担当として静岡、広島、仙台と各地を巡る  
3年目 『リトルマーメイド』札幌公演を担当  
仙台公演でコンピューター制御の舞台機構について学び、仙台・札幌公演にて床機構操作を行う  
現在は『ライオンキング』有明公演で、吊り物機器操作を担当

高校の文化祭にて『マンマ・ミーア!』を題材にした演劇を製作したこと、劇団四季の存在を知りました。大学生のときに初めて観た『ライオンキング』の圧倒的な感動が忘れられず、目指してみようと考えました。

入団してから印象に残っている仕事は『リトルマーメイド』広島公演開幕の際、稽古場担当を務めたことです。稽古場では劇場ほど大きな装置を動かすことができないため、仮に用意した小さな装置などを使用しています。そんな中でも、俳優たちが劇場と同じように違和感なく演技できるよう、創意工夫しながら場面転換を行いました。

現在は『ライオンキング』の吊り物機器操作を担当しています。仕事の中で大切にしていることは、毎日同じクオリティを保ち、安全に本番を行うことです。最初の曲である「サークル・オブ・ライフ」にて、私がスイッチを押すと雲の幕が上がっていき、観客の皆様から歓声が上がったとき、自分も演劇をつくっている四季の一員なのだと強くやりがいを感じます!



吉澤 紳吾 YOSHIZAWA SHINGO  
音響 (2019年入団)



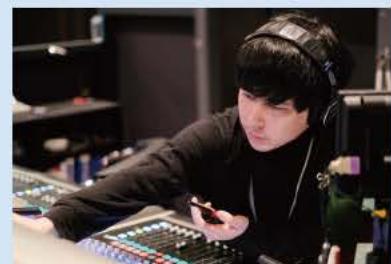
- 1年目 『ライオンキング』にてマイクケア・ステージ担当  
2年目 『オペラ座の怪人』にてマイクケア・ステージ担当  
公演の開幕を初めて担当し、大変さとやりがいを感じる  
3年目～ 『アナと雪の女王』サブオペレーター担当  
お客様の声援を間近に感じて、圧倒される

劇団四季を目指したきっかけは、中学生のころ家族と観劇に行った『ライオンキング』でした。子どものころから音楽に触れていたため、将来は音楽に携わる仕事に就きたいと思っていました。観劇した際に目の前で行われる人と音楽の共演に心を打たれました。

仕事をして印象的だったのは、2年目で携わることができた『オペラ座の怪人』の開幕です。マイクケア・ステージ担当で、音響だけではなく、いろいろな部署の方と話しながら作り上げていくのは、大変でしたがやりがいがあり面白かったです。3年目からは『アナと雪の女王』を担当し、メンテナンスのために来日した海外クリエイティブスタッフと関わりながら作品作りに携わる機会もありました。英語が拙くわからないことだらけでしたが、先輩方にフォローしていただき、やり遂げることができました。

今の仕事は生演奏のオーケストラのオペレーターで、毎日違う音楽に触れているような気分です。人によって違う音楽をまとめて、一つの演劇の中の音楽としてどのようにお客様に聴かせるか、それを考えながらオペレートするのはとても難しいですが、最後にお客様から歓声が聞こえたときに嬉しさと安心でいっぱいになります。

音響とは言うものの、音のことだけではなく、演劇の中のいろいろなことに関わります。その中で自分がどうありたいかを考えながら仕事をすることを大切にしています。



# 先輩に聞いてみた!

## …あなたにとって四季とは?…



憧れが詰まった場所。こんな社会人になりたいと思える先輩方に囲まれ、大好きなミュージカルがお客様に届くまでの過程を学び、よりよい作品を提供するために私自身ができるることを日々考えています。

経営企画部 西川 茉那(2021年入団)

よく演劇は総合芸術と言われますが、四季はあらゆる分野の素晴らしい才能ある人達が集まり、能力を存分に発揮できる所だと感じています。一人では見ることのできない景色に立ち会える場所です。

小道具 高谷 萌(2019年入団)



挑戦し甲斐のある高い山。今までの人生で未経験のことや自分にとって苦手なことなど、年次や仕事のフェーズが上がるごとに試練を感じるような業務が立ちはだかりますが楽しいです。

カスタマーパーク 田澤 有里朱(2021年入団)



人生のパートナー。幼い頃から音楽を学んできました中で、四季の舞台は私にとって特別な存在でした。今でもその想いは変わらず、日々この“特別”を誰かの心に届けたい一心です。

音楽 上田 佳澄(2022年入団)



## …仕事をしていて楽しいと感じるときは?…



舞台転換をより完成度が高く、安全な方法にするために思考すること。その工夫が実った時にすごく楽しい!と思います。また、自分自身が客席で観劇した時に周りのお客さんの反応を感じ、「ここで働いているんだ!」と誇りを感じた時にこの仕事は楽しいと思いました。

舞台監督助手 水田 湧樹(2020年入団)

劇団四季の俳優を志す「研究生」の担当をしているのですが、その研究生が劇団員になることができ、舞台に立ってお客様に感動や笑顔、夢や希望を届けている姿を観ることが出来た時は本当にやりがいを感じています。

制作部 福元 朋弥(2021年入団)



現場で舞台を設営しているときです。何もない空間に自分で書いた図面上のものが現実に作られていき、作品の世界観が表現され、そこに他のセクションのものなどすべてが揃った完成形の瞬間を見ることができるからです。

舞台装置 石川 績香(2018年入団)



衣装の早着替えをしているとき。ハラハラしますが、楽しさを感じます。衣裳に対する新たな発見をしたときや、自分がメンテナンスや対応した衣裳を俳優が問題なく着用し、感謝されたときは、やりがいと楽しさの両方を感じます。

コスチューム 浅木 絵鈴(2020年入団)



## …なぜ四季に入ろうと思ったの?…



幼少期、地元・宮崎に来てくれていたツアー公演を欠かさず観劇していました。「こんな素晴らしい世界があるんだ」と、その時もらった感動は今でも宝物です。今度は私が、その感動をより多くの方へお届けしたいと思い、劇団四季を志望しました。

名古屋営業部 満安 恵(2021年入団)

「自分が魅力的に感じるものを、一人でも多くの人に届けたい」を就活の軸にしていました。そこでまず思い至ったのが、学生時代にたくさんの感動をもらった劇団四季!以来、搖るがない第一志望でした。

広報宣伝部 藤田 あかね(2021年入団)



元々劇団四季の舞台が好きだったので、学生時代にミュージカルサークルに所属し、照明や演出などの裏方スタッフを経験したのがきっかけです。特に専門的な知識はありませんでしたが、舞台の裏方に挑戦してみたいと思い、入団しました。

映像 嘉麻 真利奈(2020年入団)

部活動のスランプ時や、受験のときなど、つらいときにいつも劇団四季からパワーをもらっていました。観劇を通して、晴れやかで前向きな気持ちにさせてくれる劇団四季で働き、それをたくさんの人々に広げていきたいと思ったからです。

全国・新都市営業部 鈴木 隼(2021年入団)



## …あなたの部署・セクションの好きなところは?…



何でもできるところです。本番の音響オペレートはもちろん、マイクのケア、会場の設営、稽古、コーディングから音源の制作など、色んなことに挑戦できます。他の音楽関係の仕事だと、ある一つの専門的な業務になってしまふと思うので、そこが強みかなと思います。

音響 内田 光菜(2019年入団)

生の舞台でお客さまの目に直接届く明かりを扱うため、良い舞台を作っている、という実感がすごく持てるところ。プレッシャーであり、好きなところです。

照明 合谷 栄音(2021年入団)



とにかく人がいいところです。入社してから3年間関西営業部に所属していますが、本当に温かく見守っていただいているなと思います。入社からここまで安定して仕事ができているのは、関西営業部の皆さんのおかげだなと思います。

関西営業部 家原 佳弥(2021年入団)

演目によって全然違ったヘアセットやメイクに携われるところです!それぞれの場所での学びや発見があります。納得のいくものを作ることは難しいですが、できたときの達成感を糧に頑張り続けます!

ヘア・メイク 池田 心(2019年入団)



# 劇団四季の全国展開

東京、大阪、名古屋に計7つの専用劇場を持ち、京都、横浜、舞浜の既存劇場も長期利用。札幌、仙台、静岡、広島、福岡にオフィスを設置し、各地でロングラン公演を行っています。さらに、全国各地の公共ホールを使用したツアー公演を、年に2~3公演上演しています。

2023年度の総公演回数2,900回のうち、1,428回は首都圏以外での公演。

うち529回は北海道から沖縄県までの全国市町村を巡るツアー公演です。



# 劇団四季の社会貢献活動

## (1) 「こころの劇場」

舞台を通じて、子どもたちの心に「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」など、生きていくうえで大切なことを語り掛けるプロジェクトで、全国の小学生を劇団四季の公演に無料招待しています。一般財団法人舞台芸術センターの運営のもと、多くの企業・団体、行政などのご協賛を得て2008年より実施し、年間約140都市400回の公演を行っております。

新型コロナウイルスの影響下、中止や映像配信を経て、2023年度からはおよそ3年ぶりに劇場での招待公演を再開しました。



## (2) 「美しい日本語の話し方教室」

俳優が実際に小学校を訪れて、話し言葉としての日本語を明晰に話すための方法を教えます。2005年度より実施し、首都圏を中心に全国各地で、年間約700校5万9000人の子どもたちに向けて授業を行っています。新型コロナウイルスの影響で2020年は中止、2021~2023年は映像配信に切り替えていましたが、2024年からは訪問の再開を検討しています。

# 四季株式会社 概要

社名	四季株式会社（英語表記：SHIKI THEATRE COMPANY）
本社所在地	神奈川県横浜市青葉区あざみ野1丁目24番地7
設立	劇団 1953年（昭和28年）7月14日 株式会社 1967年（昭和42年）9月1日
資本金	1億円
公演回数	2,900回（2023年度）
売上高	275億6,000万円（2023年度）
従業員数	372名（2023年12月末日現在）
施設概要	四季芸術センター（本社） NOMURA 野村證券ミュージカルシアター JR 東日本四季劇場 [春] JR 東日本四季劇場 [秋] 自由劇場 大同生命ミュージカルシアター 電通四季劇場 [海] 有明四季劇場 名古屋四季劇場 大阪四季劇場 四季演劇資料センター

## 男女別人員構成および労務に関する情報

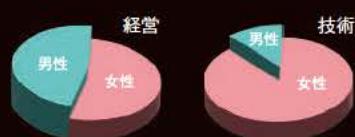
### ● 男女別在籍者の割合（2023年12月末日現在）

男性…30% 女性…70%



### ● 2024年度新卒採用者における男女別割合

<経営スタッフ> 男性…47% 女性…53%



<技術スタッフ> 男性…12% 女性…88%

### ● 管理職における男女の割合

男性…52% 女性…48%



### ● 一月当たりの平均残業時間（2023年度）

正社員…9時間29分

### ● 有給休暇平均取得日数

正社員…7.4日